

自主・創造・根気

第5号

令和元年6月3日
三田市立狭間中学校

つながりは“あいさつ”から

先日、生活アンケートを実施しました。

アンケートのなかで、

「狭間中生の良いところ」を質問したところ約7割近い人が「あいさつができる」と回答していました。

“あいさつ”は、全てのコミュニケーションの始まりです。きちんとした“あいさつ”は、人格表現のひとつであり、好ましい人間関係を作るためのものです。多くの狭間中生がこの人間関係の基本となる“あいさつ”ができることを学校の良い点として挙げてくれていたことを大変うれしく思います。

特に、先輩にあいさつをしたらきちんと返してくれる。

あいさつ以外に、ありがとうの言葉をよく耳にする。

先生や地域のかた、保護者にあいさつしている。

相手の目を見てあいさつが出来ている。

人よりも先にあいさつしている。

など、皆さんが積極的に気持ちよい“あいさつ”を心がけてくれていることが印象的でした。これからもこうした点をさらに伸ばして行って欲しいと思います。

また、これ以外にも狭間中の良い点として、

部活に限らず、先輩が親しく声をかけてくれる。

良い意味で先輩・後輩の上下関係がしっかりとしている。

トイレのスリッパをそろえている。

敬語がしっかりと使っている。

授業と休み時間のメリハリが出来ている。

時間を守って、素早く生活が出来ている。

授業中に手を挙げて発表している人が多い。

掃除を隅々まできちんと行っている

全校集会など全体の集まりで、礼をしっかりとしている。

行事に真剣に取り組む。
学年の仲が良い。(3年)
計画的に挑戦している。
先輩・後輩の仲が良い。
などの回答が多くありました。
その半面、悩み事としては



ライン関係でのからかい
部活動に関する人間関係や技術面での悩み
勉強の方法や受験、進路への不安
クラスになじめない

などの回答がありました。悩みについては、担任や当該学年教師、部活動顧問等で早急に対応したり、話を聞いて相談に乗ったりしています。

良き学びの環境をこれからも大切に

5月23日(木)に、三田市教育委員会の学校訪問があり、各クラスの授業を参観してもらいました。教育委員会の皆さんからは、狭間中生が良い環境のもと良い雰囲気の中で授業を受けているという内容の話を聞きました。

授業のなかで、先生と生徒が良好な関係のもと良い雰囲気の中で授業を行っていることを大変評価してもらっています。

また、教室、廊下、校舎外など学びの環境も整備されており、生徒がしっかりと掃除をしている姿や廊下ですれ違った時にあいさつを交わしてくれる点などにも良い印象を持たれていました。

ひょうご防犯ネットへの登録のお願い

5月末に、川崎市で登校途中の児童らが襲われるという痛ましい事件が起きました。こうした事案への対策は、大変困難ですが、予め地域で起こっている防犯に係る事案を知り、防犯意識を高くもつことは重要だと考えます。

その1つとして「ひょうご防災ネット」への登録をお願いします。希望の地域や犯罪の種別を選択して登録し、地域で起こっている犯罪等を知ることが出来ます。是非この機会に登録いただき防犯意識を高めていただければと思います。



※[http@hbnp.net](http://hbnp.net)へ空メールを送信

詳細は「ひょうご防犯ネット」ホームページをご覧ください。